

# いつでもどこでも 一町民1スポーツのまち・養老 スポーツ推進委員会の取り組みを通して

養老町教育委員会

## 1 はじめに

養老町は、養老山では四季折々の美しさを味わうことができ、菊水泉で知られているように美味しい水が豊富にある自然豊かな地である。県営の養老公園には、天命反転地や養老の滝・子どもの国があり、桜のシーズンや紅葉のシーズンには、多くの人々で賑わっている。史跡や文化財では、象鼻山古墳群や薩摩義士役館跡、高田祭りなどがある。



また、昨年（2017年）は、養老改元1、300年祭事業を実施し、多くの方々に養老町に来ていただくことができた。参加して頂いた方々には、心よりお礼申し上げます。

さて、今回は、教育委員会スポーツ振興課が主管している、スポーツ推進委員会（推進員…各地区選出1名・町全体から選出の計18名で活動している。体育委員の指導を行ったり、スポーツ連盟や町の事業の運営を担ったりしている）の活動を紹介する。

## 2 町スポーツ推進計画が目指す将来像

『一町民1スポーツのまち・養老』

## 3 推進計画の目指す将来像の主な根拠

- (1) 高齢者の増加による介護費・医療費の増大を防ぐため、町民の健康増進への取り組みが必要である。
- (2) 子どもの頃からスポーツ好きな人は、大人になってもスポーツを継続的に行っている傾向がある。子どもがスポーツに親しみやすい環境が求められる。

## 4 スポーツ推進委員会としてできること

- (1) 町のスポーツ活動を推進するリーダー・指導者の育成
- (2) 楽しさにこだわるスポーツ意識の浸透
- (3) バルシューレや地域の特性を生かしたレクリエーションスポーツの普及
- (4) ウォーキングの普及とコースの設置や活用

## 5 スポーツ推進委員会の主な活動内容から

### (1) 町民へのノルディック・ウォーキング普及活動

新しい取り組みとして、スポーツ推進委員会としてウォーキング教室を実施してきたが、更に新たな取り組みとして、ウォーキングの愛好者が増えるきっかけとなることを願い、ノルディック・ウォーキングに取り組む事とした。

#### ①具体的な活動内容

- スポーツ推進員での研修 11名参加／18名中
- 体育委員の研修 120名参加
- 住民対象のノルディック・ウォーキング教室の開催
  - 1回目 22名 ・ 2回目 12名（町総合体育館）
  - 3回目 20名（ひるがの高原） 参加費 3,000円
- 事業の企画方法についての研修

- 効果的な募集の実施
- ノルディック・ウォーキング愛好者との懇談会の実施

## (2) バルシューレの普及活動

①バルシューレとは…バルシューレの運動プログラムには、小学校低学年のバレーボール・サッカー・テニスといった個別種目に入る前に必要な全てのボールゲームの基礎技能が、オールラウンドに習得できるようにつくられている。

こども園・小学校職員の夏期研修の一つとして毎年（平成28年度から）研修会を実施して、理論と技能を身に付けてもらっている。

小学校では、体育の授業の準備運動に取り入 【バルシューレ研修会風景】  
れている学校もある。



②バルシューレ指導者養成講座の実施（C級指導員資格取得）

1回目	平成26年度	12名	
2回目	平成27年度	13名	
3回目	平成28年度	12名	合計 37名 C級指導員資格取得

③バルシューレ勉強会の開催

隔週	金曜日	2回/月	2時間
隔月	日曜日	1回/2か月	2時間

④活動実態（公認指導員が中心になり実施）

教室名・開催日時	参加人数	対象	開始時期・開催回数
バルシューレ教室 毎月第2土曜日	15～20名	こども園児から 小学校低学年	2015年～9月 約20回
体育委員研修会 年1回	約120名	各地区体育委員	2015年～5月 3回
出前教室 随時	40～80名	住民	2015年～ 約20回
町民フェスティバル 年1回	約30名	小学生	2015年～9月 3回

## (3) まとめ

マンネリ化しつつあった活動を見直し、ノルディック・ウォーキング、バルシューレに取り組んだ。教室を開催するに当たり、研修を重ねる必要があり、委員の交流と資質の向上を図ることができた。

子ども達が繰り返しボールを使った活動を行うことによって、運動能力の向上を図ることができた。

養老町スポーツ推進委員会では、これからも住民のいろいろな声を汲み取り、町民スポーツ振興に繋がる取り組みを行う事によって、推進計画が目指す、一町民1スポーツのまち・養老の実現を目指し、活動を充実させていきたい。

一人でも多くの住民や子ども達が、スポーツ好きになることを願って。

